

令和2年度

長崎県学力調査

小学校第5学年 国語

注意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから12ページまであります。
- 3 答えは、すべてかい答用紙に書きましょう。
- 4 印刷がはつきりしなくて読めない場合は、静かに手をあげてください。ただし、問題の内容に関する質問には答えられません。
- 5 かい答時間は、40分間です。すべての問題をとくことができるよう、時間配分を考えながらといてください。
- 6 かい答用紙には、「組」、「番号」、「名前」を書く所があります。まちがいのないように書きましょう。
- 7 かい答用紙の「補助票」には何も記入しないでください。

長崎県教育委員会

【資料】^{しりょう ちょうさ} 調査結果をまとめた表

① 5年生がよそうした1年生が言われてうれしい言葉

じょうずだね	20人
すごいね	12人
がんばったね	11人
えらいね	10人
やさしいね	7人
その他	3人

② 6年生が1年生によく使う言葉

がんばったね	21人
えらいね	13人
できたね	11人
じょうずだね	7人
すごいね	6人
その他	10人

③ 1年生が言われてうれしかった言葉

がんばったね	14人
えらいね	13人
できたね	11人
すごいね	7人
じょうずだね	6人
その他	8人

五年生の田中さんの学級では、学校生活で気になっていることをグループで調べて、学級のみんなに発表することになりました。田中さんのグループでは、一年生との交流会のふり返りをしたときに、多くの友達から「一年生にどんな言葉をかければよいのかとまどった」という感想が聞かれたことから、一年生が言われてうれしい言葉を調べて、発表することになりました。

次は、田中さんたちがまとめた【資料】と、【発表げんこつ】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

山田さん ^A みなさんは、一年生が言われてうれしい言葉はどんな言葉だと思いますか。わたしたちは、一年生と

の初めての交流会で、一年生にどんな言葉をかけていいのかとまどったことから、一年生がどんな言葉を言われるとうれしいと思うのかについて調査ちゆうさしました。その調査結果ちゆうさから分かったことや考えたことを発表します。

森さん まず、一年生が言われてうれしかった言葉についての調査結果ちゆうさです。この表アを見てください。「がんばったね」が十四人で、「えらいね」が十三人でした。わたしたちがよそうした言葉とは、ちがって
ました。

木村さん 次に、六年生が一年生にどんな言葉を使っているかについての調査結果ちゆうさです。この表イを見てください。「がんばったね」と答えた人が二十一人で、最多Bの結果でした。

二つの調査結果ちゆうさをあわせてみると、多い順に「がんばったね」「えらいね」「できたね」です。

小林さん 六年生には、どのように使うかについても回答してもらいました。「さいごまでがんばったね」「さいごまでがんばってえらいね」「ここまでできたね」のように一年生がしたこととあわせて使っていることが分かりました。

田中さん 一年生との交流会をもっと楽しくするために、一年生ががんばっていることを見つけ、そのときに「がんばったね」と言ってみましょう。きつともつとなかよくなれると思います。

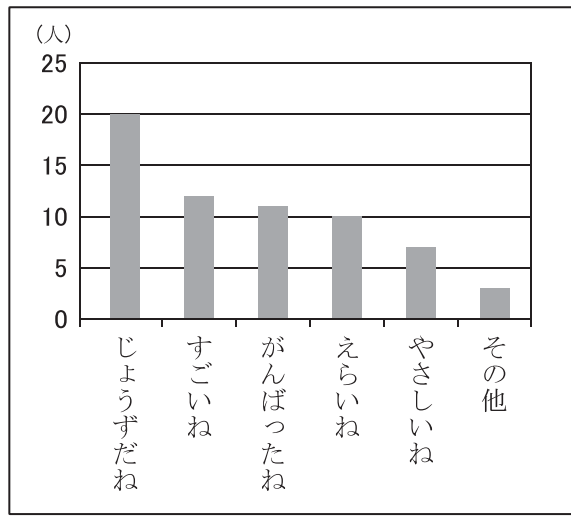
田中さんたちは、発表練習の様子を録画し、それを見て発表の仕方を考えています。次の(1)から(4)の問いに答えましょう。

(1) 【発表げんこう】の——線部ア、イでは、【資料】を見せながら発表しました。——線部アで見せた表を【資料】の①から

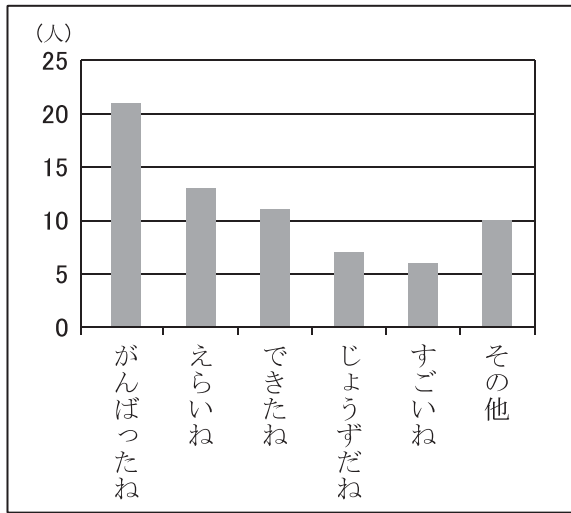
③までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

(2) 田中さんたちは、【資料】を、はじめに用意した表から、次のようなぼうグラフに変えることにしました。なぜ表からグラフに変えることにしたのか、その理由を書きましょう。

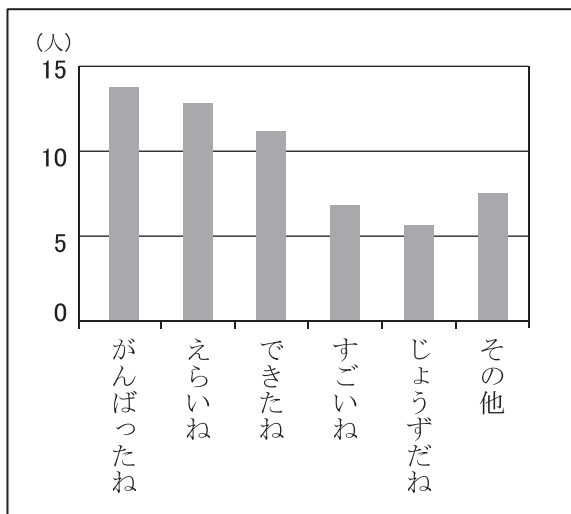
① 5年生がよそうした1年生が言われてうれしい言葉



② 6年生が1年生によく使う言葉



③ 1年生が言われてうれしかった言葉



(3) 線部Aの部分を、聞く人のきょうみを引くように発表しようと考えています。ふさわしくないものを次の1から4までの中

から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 一年生のことについて分かったことを伝えたいから、「一年生」を小さな声で話す。
- 2 うれしい言葉について分かったことを伝えたいから、「うれしい」をゆっくり話す。
- 3 聞いている人にも考えてほしいという思いを伝えたいから、「みなさんは」をよびかけるように話す。
- 4 一年生が言われてうれしいのは、どんな言葉を伝えたいから、「どんな言葉」を間を取って話す。

(4) 初めて聞く人には、——線部Bが分かりにくいのではないかと考え、分かりやすい言葉はないか話し合い、言いかえることにし

ました。意味が変わらないように、——線部Bの部分を言いかえ、その言葉を書きましよう。

【言いかえる前】

「がんばったね」と答えた人が二十一人で、最多の結果でした。

【言いかえたあと】

「がんばったね」と答えた人が二十一人で、() 結果でした。

※かい答は、かい答用紙に書きましよう。



二 田中さんたちは、調べたきっかけや目的が伝わるかたしかめるために、別のグループの人にも聞いてもらうことにしました。だれの発表を中心に聞いてもらえばよいでしょうか。【発表げんこう】に出てくる名前から一人選んで書きましよう。

「折り紙」はかせになろう

「折り紙」とは、紙を折って動物や植物、生活の道具などのさまざまな形を作る日本の代表的な遊びの一つです。みなさんも「つる」「かぶと」「紙飛行機」などを一度は作ったことがあるでしょう。

では、どのようにして日本中で親しまれる遊びとなったのでしょうか。

約1400年前に、日本に紙が伝えられ、和紙が生まれました。はじめは、記録するものとして、紙は大切なものでしたが、神様をおまつりする儀式ぎしきで使われるようになりました。儀式ぎしきでは、折り目正しく折り、心をこめておそなえ物を紙に包みます。そのときにできる折り目から、紙を美しく折ってかざる文化が生まれ、しだいに、折り方そのものを楽しむようになりました。これが、「折り紙」の始まりです。そして、紙がたくさん作られるようになると、いつそうたくさんの人に親しまれるようになりました。

なぜ「折り紙」の文化は広まったの？

日本では、四角の田んぼがならぶとできる直線や正方形、和室の障子しょうじやふすまの直線や正方形、長方形は、見なれたものでした。そして、その直線や正方形、長方形は美しいものです。日本人は、このような美しさの中で、生活を楽しんできました。

また、日本では、ふとんや和服をきれいにたたんで整理するなど、生活の中にたたむ文化がありました。たたむことで空間を最大限さいだいげんに活用し、生活してきました。

このような日本人だからこそ、「折り紙」の文化が広まったと考えられます。

「折り紙」のみりよくってなんだろう？

「折り紙」は、紙を切ったり、はったりすることなく、1まいの紙を折るだけでさまざまな作品を作ることができます。

「紙飛行機」や「紙風船」などは、作ったあと遊ぶことができます。

複数の紙ふくを組み合わせれば、「しゅりけん」などを作ることができます。

大きな紙を使って「かぶと」を作れば、身につけられます。

紙を折るだけで、さまざまな形を作り出すことができる「折り紙」は、今も新たな折り方が考えられ、新しい形が生み出されています。

みなさんも、新しい形を生み出してみませんか。

石川さんの学級では、小学校で英語を教えるために来た外国人の先生に、日本の遊びをしようかという話をしました。次は、石川さんが選んだ【資料】と石川さんの【ノートの一部】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【ノートの一部】

折り紙について

しようかいしようと思つた理由

折り紙は、紙を折つてさまざまな形を作る日本の代表的な遊びで、外国人の先生によるこんでもらえるのではないかと思つたから。

外国人の先生にしようかいしたいこと

①なぜ日本中に折り紙が広まったのか。

②折り紙のみりよくとはなにか。

調べて分かつたこと

①折り紙が日本中に広まった理由は、直線や正方形、長方形は、日本人にとって見なれたものであり、その中で生活を楽しんできたから。また、

②折り紙のみりよくは、

イ。

一 石川さんは【資料】しりょうを読み、ノートにまとめています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 【ノートの一部】の には、の①の答えの内容が入ります。その内容として

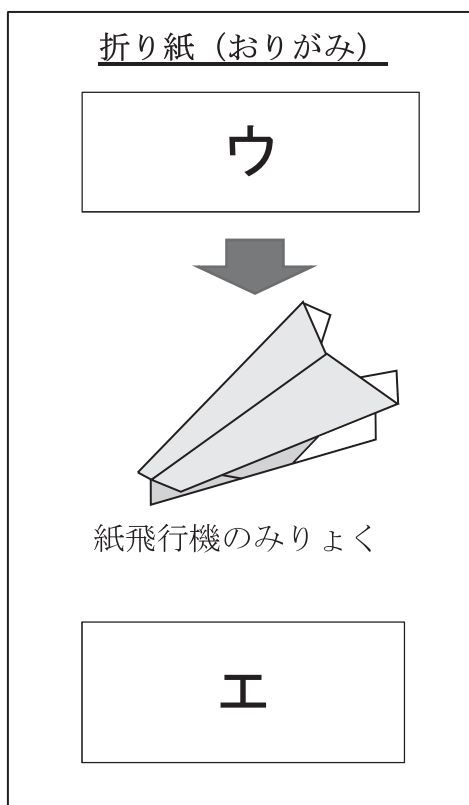
最もふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 一度は、作つたことがあるから
- 2 生活の中にたたむ文化があったから
- 3 新しい形が生み出されているから
- 4 紙は、記録するものとして大切なものだったから

(2) 【ノートの一部】の に入る内容ないようを、三十字以内で書きましょう。

二 石川さんは、「紙飛行機」を外国人の先生にしようかいしようと考え、「資料」を読み、カードを作っています。次は、「紙飛行機のしようかいカード」です。あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

【紙飛行機のしようかいカード】



(1) 石川さんは、外国人の先生にも「折り紙 (おりがみ)」が読めるように、「紙飛行機のしようかいカード」の にローマ字でも表すことにしました。「折り紙 (おりがみ)」をローマ字で書きましょう。

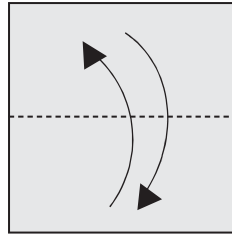
(2) 【紙飛行機のしようかいカード】の に入る内容を、「資料」の言葉を取り上げて書きましょう。

三 石川さんは、「紙飛行機の作り方」を説明するために、次のような折る順番に番号をつけた①から⑦のカードを作りました。

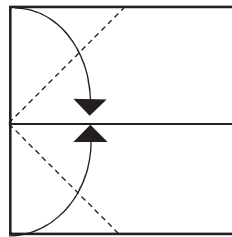
③のカードの オ に入る最もふさわしい内容を次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【紙飛行機の作り方】

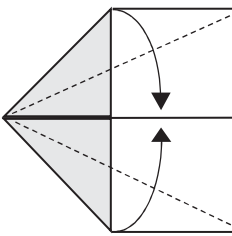
① 半分に折ってもどし、うら返す。



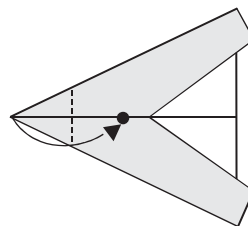
② 中央の線に合わせて、角を折る。



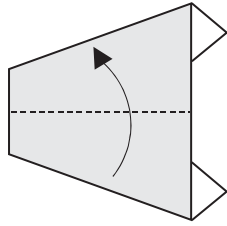
③ オ



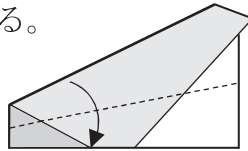
④ ●印に合わせて、とがっている部分を折る。



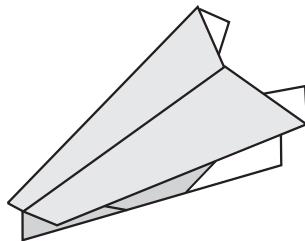
⑤ ④をうら返して、ふちにに合わせて半分に折る。



⑥ 上の1まいをふちにに合わせて折る。
反対側も同じように折る。



⑦ 開いて完成。



----- 谷折り

- 1 うら側へ半分に折る。
- 2 うら側からめくり出す。
- 3 半分に折って、すべて開く。
- 4 さらに中央の線に合わせて角を折る。

上田さんの学級では、生活の中で気になっていることについて調べ、友達にほうこくすることにしました。次は、上田さんが地いきの安全について調べて書いてある【ほうこくする文章】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【ほうこくする文章】

わたしは、おのうえ町に住んでいます。おのうえ町では、大きな事Aや事けんが起きていないけど、わたしは、それがどうしてなのか分かりません。そこで、町の人にインタビューをして調べてみると、けい察官のほかに、地いきの人が活動していることが分かりました。地いきの人の活動について、分かったことを三つしようかします。

一つ目は、登下校の見守りです。おのうえ町に住んでいる山田さんは、つうがくろの横だん歩道に、毎日立ってくださいています。せまい道から広い道に出るところです。そこは、小学生と自転車Bがぶつかりそうになったのです。山田さんは、「広い道を通る人には、出てくる人が見えにくいので、目立つように旗イを持ち、注意をよびかけています。」とおっしゃいました。

二つ目は、かん板のせつ置です。校区内のきけんな場所には、「あぶない注意」と書かれた子どもすがたをしたかん板が立っています。かん板を立てる場所は、地いきの人とほご者、先生が実さいに歩いてみて、注意が必要と感じた場所です。「地いきの子どもは、地いきのみんなで守る」を合言葉に、月に一回、きけんなところはなにか見まわりウをしているそうです。

三つ目は、花の名所となつている交差点横の花だん作りです。ここは、交通量が多く、高速道路にも近いので大きなトラックも通ります。ですから、長年エきけんだと言われてきたそうです。そこで、老人会のみなさんが、ここをきれいで安全な場所にしたいと思ひ、交差点横に協エ力して花だんを作つたそうです。毎日必ず、花の手入れをしながら、安全な場所になるように守つてくださっています。

わたしたちが、安全にすごせるのは、地いきの人のおかげだと思います。なぜなら、

C

今回調べて分かつたことを多くの友達に伝え、地いきのことを知ってもらひ、もつと好きになつてもらひたいです。

二 上田さんは、自分が書いた【ほうこくする文章】を読み返しています。次の(1)から(4)の問いに答えましょう。

- (1) 分かりやすく伝えるために、——線部Aの文を二つの文に分けて書き直すことにしました。文と文をつなぐ言葉には、「しかし」を使います。書き直した一文目の終わりの**四文字**を①に、二文目の「しかし」に続く**四文字**を②に書きましょう。

おのうえ町では、大きな事こや事けんが起きていないけど、わたしは、それがどうしてなのか分かりません。

①

--	--	--	--

※かい答は、かい答用紙に書きましょう。

②

--	--	--	--

しかし、

- (2) ——線部Bの部分を読み返し、……のところを書き直すことにしました。文の意味が変わらないように、正しく書き直しましょう。

【書き直す前】

そこは、小学生と自転車がぶつかりそうになったのです。

【書き直したあと】

そこは、小学生と自転車がぶつかりそうになったのです。



※かい答は、かい答用紙に書きましょう。

(3) 読み返すと、学習した漢字が、ひらがなになっていることに気づき、書き直すことにしました。

——線部アとウのひらがなを、漢字でいいねいに書きましよう。

(4) 三・四年生にも読んでもらうために、漢字に読みがなを書くことにしました。

——線部イとエの漢字の読みがなをひらがなで書きましよう。

三 北川さんは、上田さんが書いた【ほうこくする文章】を読んで、次のような感想を伝えようと思います。【ほうこくする文章】に対する感想としてふさわしくないものを次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 内容のまとまりないようごとに段落だんらくを分けて書いて書いているから、分かりやすいよ。
- 2 「かん板」の写真があると、みんなにも分かりやすいと思うよ。
- 3 「一つ目は」「二つ目は」「三つ目は」の言葉は、省いたほうが分かりやすいと思うよ。
- 4 聞いたことや思ったこと、考えたことなどが分かるように書き方をくふうしているね。

これで、**国語**の問題は終わりです。

